

**Stage1**  
興味・関心をもつ段階

<保育所、幼稚園> 「4年生の“音づくり発表会”を聞きに行こう！」  
<小学校> 「“音づくり発表会”で、幼児にいろいろな音の響きを伝えよう！」

【6月】

**1** 活動のねらい

幼児	児童
◆ 4年生の音楽の“音づくり発表会”に参加して、児童の音づくりを楽しみ、小学校の児童や先生、教室、そこで行われている教育活動に興味・関心をもつ。	◆ 音の響きやその組み合わせを楽しみながらイメージに合った“音づくり”をし、“音づくり発表会”で表現の仕方を工夫して、いろいろな音の響きを幼児に伝える。

**2** 指導の流れ

(1) 事前の指導

保育所、幼稚園

◆ 幼児への指導

- 事前に、きれいな“音づくり”、こわい“音づくり”などの遊びを意図的に取り入れる。
- 4年生から“音づくり発表会”の招待状が届いたことを伝える。
- 「4年生も音楽の授業で“音づくり”をしていて、みんなに聞いてほしいそうよ。どんな音を聞かせてくれるのかな。」と投げかけ、小学校を訪問することへの興味・関心をもたせる。

◆ 保護者への取組

- 幼児の“音づくり発表会”の実施日時や参加のねらいなどを園だより等で知らせ、保護者も“音づくり発表会”を参観するように働きかける。

・ 4年生から園長に、“音づくり発表会”の招待状を届ける。

・ 園長から4年生に、幼児が“音づくり発表会”を楽しみにしている旨の手紙を届ける。

小学校

◆ 児童への指導

- “音づくり発表会”に招待するのは、来年の4月に入学して来る幼児であることを伝えるとともに、幼児が音の響きやその組み合わせを楽しめるように表現の仕方を工夫して“音づくり”をするといった目標を明確にもてるようにする。
- 保育所や幼稚園で、幼児が“音づくり”の遊びを広げられるように、どのような素材を使って音づくりをしたのか“音づくり発表会”で伝えるようにする。



保育所や幼稚園でも、“音づくり”の遊びをやっているのだから、どんな素材を使って“音づくり”をしたのか教えてあげてね。

みんなも“きれいな音”や“こわい音”をつくったね。4年生のお兄さんやお姉さんは、どんなふうに音をつくったのかな。



お兄さんやお姉さんは、どんな音をつくったのか、早く聞いてみたいな。



(2) 交流の実施

小学校

◆ 幼児

- 4年生の“音づくり”を聞く。

◆ 児童

- グループごとに“音づくり”の成果を発表する。(音楽⑤)

▼ 音楽：指導計画

単元名 『いろいろな音の響きを感じよう!』

(6時間)

- 1 音を集めよう! ①②
- 2 音を組み合わせよう! ③④
- 3 “音づくり”の成果を幼児に発表しよう! ⑤
- 4 クラス全体の音楽をつくろう! ⑥

どんな素材を使うと、どんな音が出るのか、きちんと伝えるようにしないとね。



▼交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時間	児童の活動	幼児の活動	指導上の留意点	評価
10:40 ～ 11:25 3校時	<p>①既習曲を歌う。</p> <p>②めあてを確認する。</p> <p>グループごとに、音の響きやその組み合わせを工夫しながら「森の音楽」を表現しよう。</p> <p>③グループごとに「森の音楽」を表現する。</p> <p>・どのような素材(打楽器や木、金属、革など)を使って音をつくったのか紹介する。</p> <p>わたしたちのグループでは、空き缶やペットボトルなどをたたいて出る音を組み合わせ、音づくりを工夫しました。</p> <p>④幼児の感想を聞き、めあてが達成できたかどうかを発表する。</p> <p>⑤幼児とお別れのあいさつをする。</p>	<p>①4年生と一緒に歌う。</p> <p>②めあてを確認する。</p> <p>4年生がつくった音の響きを静かに聞いて、すてきだなと思ったことを見付けよう。</p> <p>③4年生が発表する「森の音楽」を聞く。</p> <p>お兄さんやお姉さんみたいに、みんなで作った音を合わせてみたいな。</p> <p>トライアングルの音がきれいだったね。</p> <p>④発表を聞いた感想をみんなに発表する。</p> <p>⑤4年生とお別れのあいさつをする。</p>	<p>★のびやかに歌うように声をかける。</p> <p>★めあてが分かっているか声をかける。</p> <p>★幼児に「お兄さんやお姉さんは、いろいろなものを使って“音づくり”をしているね。」というような声をかけ、小学生への憧れを抱けるようにする。</p> <p>★「“音づくり”を聞いて、楽しかったことやすごいなと思ったことを聞かせて」と声をかける。</p> <p>★次回の交流への期待感をもてるように声をかける。</p> <p>★授業をしている小学生の迷惑にならないように静かに廊下を歩くように声をかける。</p>	<p>★小学校の先生の話を集中して聞いているか。</p> <p>★4年生の発表を楽しんで聞いているか。</p> <p>★自分の感想を進んで発表しているか。</p>
11:30 ～ 12:15 4校時	<p>他の小学生が、どんな勉強をしているのか、廊下から見よう。</p>	<p>⑥先生の引率により、廊下から小学生が授業をしている様子を見学する。</p>	<p>★授業をしている小学生の迷惑にならないように静かに廊下を歩くように声をかける。</p>	<p>★静かに廊下を歩きながら授業の様子を見学しているか。</p>

(3)事後の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 帰りの会等で、4年生の“音づくり発表会”を見学して、楽しかったことやすてきだなと思ったことなどについて振り返り、「また小学校に行きたい。」という気持ちが高まるようにする。
- 日常の遊びの中で、“音づくり”の遊びが広がるような環境を整えて、小学校での“音づくり発表会”の経験を生かせるようにする。

小学校

◆児童への指導

- 「音の響きやその組み合わせを工夫しながら表現できたか。」「どのような素材を使って表現を工夫したか。」などについて自己評価させ、次の音楽の時間の活動につなげるようにする。
- 帰りの会等で、来年の4月に入学して来る幼児とのかかわり方などについて話し合うようにする。

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携

**Stage2**  
慣れ親しむ  
段階

<保育所、幼稚園> 「小学校で“1日入学体験”をしよう！」  
<小学校> 「幼児の“1日入学体験”のお世話をしよう！」

【10月】

**1** 活動のねらい

幼 児	児 童
◆ 小学校の“1日入学体験”において、5年生と触れ合いながら活動したり授業や給食を体験したりすることを通して、小学校の児童や先生、教室、そで行われている教育活動に慣れ親しむ。	◆ 幼児と学校探検をしたり一緒に給食を食べたりする活動を通して、幼児のことを来年の4月に入学して来る1年生として意識し、最上級生となることへの自覚を高めるようにする。

**2** 指導の流れ

(1) 事前の指導

保育所、幼稚園

- ◆ 幼児への指導
  - 5年生から“1日入学体験”の参加を呼びかけるビデオレターが届いたことを伝える。
  - 小学校の施設や児童の学校生活などの写真を提示しながら、「学校にはどんな部屋があるか知っているかな。」「給食はどんなかな。」などと投げかけ、小学校を訪問することへの興味・関心をもたせる。
- ◆ 保護者への取組
  - 幼児の“1日入学体験”の実施日時や体験のねらいなどを園だより等で知らせ、保護者も幼児の“1日入学体験”を参観するように働きかける。

・ 5年生から園長に、“1日入学体験”への参加を呼びかけるビデオレターを届ける。

・ 園長から5年生に、“1日入学体験”に対する幼児の思いや願いを伝える旨のビデオレターを届ける。

小学校

- ◆ 児童への指導
  - 学級活動では、実行委員会が考えた提案を基にして、学校探検の方法を決定していくようにする。
  - 話し合いでは、幼児に楽しかったと言ってもらえるような学校探検にするにはどうしたらよいかということを考え、話し合いを進めていくようにする。
  - 危険な場所については十分に確認し、探検に行かないようにする。

“1日入学体験”のビデオレターが届いたよ。みんなは、どんなところを探検してみたいですか。



校庭には、どんな遊ぶものがあるか見てみたいな。



(2) 交流の実施

小学校

- ◆ 幼児
  - “1日入学体験”をする。
- ◆ 児童
  - 幼児の“1日入学体験”のお世話をする。（学校探検、給食体験）



▼学級活動：指導計画

主題『幼児を迎えて学校探検をしよう！』

(2時間)

- 1 学校探検の計画を立てる。①
  - ・ 議題名 「幼児と学校探検に出かけよう！」
  - ・ めあて 幼児が喜ぶような学校探検の内容を考えよう。
  - ・ 話し合いの柱
    - ㊦探検のめあての決定
    - ㊧探検の方法
    - ㊨紹介したい場所や危険な場所の確認
- 2 幼児と一緒に学校探検をする。②

幼児のビデオレターにあった、学校探検への思いや願いも生かすようにしてあげましょう。



危険な場所には、連れて行かないようにしないとイケないね。



▼交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時間	児童の活動	幼児の活動	指導上の留意点	評価
10:20 ～ 10:40 休み時間	<p>&lt;“1日入学体験”をしよう!&gt; ①幼児と二人組になる。 ②校長先生の話の聞き、めあてを確認する。</p> <p>幼児が学校生活に慣れ親しむように、お世話をしてあげよう。</p>	<p>①5年生と二人組になる。 ②校長先生の話の聞き、めあてを確認する。</p> <p>学校探検や給食のことで分からないことがあったら進んでお兄さんやお姉さんに聞くようにしましょう。</p>	<p>★名札を着用してお互いが名前呼び合えるようにする。 ★校長先生の話の静かに聞くように促す。 ★めあてが分かっているか声をかける。</p>	<p>★校長先生の話の集中して聞いているか。</p>
10:40 ～ 11:25 3校時	<p>&lt;学校探検に行こう!&gt; ①幼児と一緒に学校探検をする。 ・幼児の喜びそうな場所を提案しながら案内する。</p> <p>運動場の遊具のあるところに行ってみる?</p> <p>②次の活動につなげるために図工室、又は音楽室に案内する。</p>	<p>①5年生と一緒に学校探検をする。 ・児童の提案に答えながら探検する。</p> <p>大きな鉄棒にぶらさがってみたいな。</p> <p>②次の活動のために図工室、又は音楽室に案内する。</p>	<p>★小学校の先生と分担して校内や校庭における児童と幼児の活動を援助する。</p>	<p>★児童の提案に対して自分の意思を伝えているか。 ★児童と楽しみながら探検しているか。</p>
11:30 ～ 12:15 4校時	<p>音楽では、みんなで楽しく歌を歌いましょう。 &lt;音楽の教員&gt;</p> <p>図工では、学校で飼育している動物を粘土でつくりましょう。 &lt;図工の教員&gt;</p>	<p>&lt;音楽・図画工作の授業を受けよう!&gt; ①音楽と図画工作に分かれて授業を受ける。 ・音楽…歌唱、音楽に合わせた身体表現 ・図画工作…粘土遊び ②楽しかったことを発表する。</p>	<p>★トイレや水飲みなどに行きたくないか確認する。 ★音楽と図画工作の授業に分かれて、幼児の活動を援助する。</p>	<p>★小学校の先生の指導を聞いて活動しているか。</p>
12:15 ～ 13:05 給食の時間	<p>&lt;“交流給食会”をしよう!&gt; ①給食の準備をする。 ②給食を食べる。 ③給食の片付けをする。 ④幼児にお別れのあいさつをする。</p>	<p>①配膳されるまで座って待つ。 ②給食を食べる。 ③5年生に手伝ってもらいながら片付ける。 ④5年生にお別れのあいさつをする。</p>	<p>★席に座って待つように声をかける。 ★分からないことは5年生に聞くように声をかける。</p>	<p>★児童と楽しく給食を食べているか。 ★進んで給食を片付けているか。</p>

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携

(3)事後の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 帰りの会等で、“1日入学体験”をして、楽しかったことや嬉しかったことなどについて振り返り、「また小学校に行きたい。」という気持ちが高まるようにする。
- 日常の遊びの中で、“学校ごっこ”のような遊びにつながるような環境を整えて、小学校での“1日入学体験”の経験を生かせるようにする。

小学校

◆児童への指導

- 帰りの会等で、幼児のお世話をした感想を発表し合うとともに、来年の4月には6年生として1年生のお世話することを伝え、最高学年に進級することへの自覚を高めるようにする。
- 後日、“学芸会の招待状”をつくり、保育所や幼稚園に届ける。



**Stage3**  
期待感を  
高める段階

＜保育所、幼稚園、小学校＞

「みんなで力を合わせて“小学校生活すごろく”をつくって遊ぼう！」

【1月】

**1** 活動のねらい

幼 児	児 童
◆2年生の生活の授業に参加し、自分の思いや願いを發揮しながら2年生と協同して“小学校生活すごろく”をつくって遊ぶことで満足感を味わい、小学校生活への期待感を高める。	◆幼児と協同して“小学校生活すごろく”をつくって遊ぶことで、自分自身の成長を振り返り、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどを実感できるようにする。

**2** 指導の流れ

(1) 事前の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 今度は、2年生から“小学校生活すごろく”をつくって遊ぼうという手紙が届いたことを伝える。
- 「この前は5年生が“学校探検”をしてくれたけれど、今度は、2年生が小学校のことをいろいろ教えてくれるそうよ。」と投げかけ、小学校を訪問することへの興味・関心をもたせる。

◆保護者への取組

- 幼児が参加する2年生の生活の授業の実施日時や参加のねらいなどを園だより等で知らせ、保護者も授業を参観するように働きかける。

- ・2年生から園長に、“小学校生活すごろく”をつくって遊ぶことを呼びかける旨の手紙を届ける。

- ・園長から2年生に、幼児が“小学校生活すごろく”を一緒に遊ぶことを楽しみにしている旨の手紙を届ける。

小学校

◆児童への指導

- 生活の単元において、次のような働きかけを行い、幼児と協同して“小学校生活すごろく”をつくって遊ぶことへの見通しと興味・関心をもたせる。
- ・第1時…自分たちが小学校に入学する前にどのような不安があったのか振り返り、4月に新1年生になる幼児にどのようなことを教えてあげたらよいか話し合うようにする。
- ・第2・3時…保健室・職員室・校長室、ランチルーム、教室の4ヶ所を案内しながら、その場所のことで知っておきたいことなどについて説明するようにする。

この前は5年生が“学校探検”をしてくれたけれど、今度は、2年生のお兄さんやお姉さんが、小学校のことをいろいろ教えてくれるそうよ。

2年生のお兄さんやお姉さんは、どんなことを教えてくれるのかな。早く、また小学校に行ってみたいな。



(2) 交流の実施

小学校

- ◆幼児 ◆児童
- みんなで力を合わせて“小学校生活すごろく”をつくって遊ぶ。(生活⑤⑥)

▼指導計画：生活

単元名『すてきな自分を知ってほしい!』

(18時間)

- 1 “小学校生活すごろく”をつくって遊ぼう！
  - ・4月に新1年生になる幼児に学校生活を伝える計画を立てる。①
  - ・幼児を案内しながら小学校の生活や学習について教える。②③
  - ・“小学校生活すごろく”のカードをつくる。③④
  - ・幼児と協同して“小学校生活すごろく”をつくって遊ぶ。⑤⑥
- 2 小さい頃の自分のことを知ろう！⑦～⑪
  - ・できるようになったこと
  - ・生まれてからのわたし
  - ・お世話になった人とわたし
- 3 “ありがとう”をとどけよう！⑫⑬
- 4 成長してきた自分のことを知ってもらおう！⑭～⑱

▼交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時間	児童・幼児の活動	指導上の留意点	評価
9:35 ～ 10:20 2校時	①体育館でグループごとに幼児を迎え入れる。 ②めあてを確認する。 みんなで力を合わせて“小学校生活すごろく”をつくって遊ぼう。 ③グループごとに、小学校の生活や学習のことで知っておくとよいことをカードで確認し合う。 <カード例> ・保健室…「体の調子がわるいとき、けがをしたときに行きましょう。」 ・ランチルーム…「みんなの牛乳を配りましょう。」 ・職員室・校長室…「入るときは失礼しますと言って、名前を言いましょう。」 ・教室…「ランドセルを片付けましょう。」 ④グループごとに、カードを並べて“小学校生活すごろく”を話し合いながらつくる。 ・カードを置く。 ・“ふりだし”や“あがり”を決める。 ・輪を置いてコースをつくる。	★カードをつくったときと同じグループに入るようにする。 ★めあてが分かっているか声をかける。 ★2年生が説明しているときに、分からないことや疑問に思ったことがあれば聞くように促す。 ★自分で考えて輪を置くように声をかける。 ★小学校の授業では時間の区切りがあることを教える。	★2年生と積極的にかかわろうとしているか。 ★2年生の説明を集中して聞いているか。 ★進んですごろくづくりに参加しているか。
10:20 ～ 10:40 休み時間	○グループの幼児とトイレや水飲みに行ったり、校庭へ遊びに行ったりする。 トイレに行ったら、手を洗おうね。	★小学校の先生と分担して校内と校庭における児童と幼児の活動を見取り援助する。	★授業と授業の間に休み時間があることを感じているか。
10:40 ～ 11:25 3校時	⑤グループごとに“小学校生活すごろく”で遊ぶ。 ・カードのところにコマが止まったら、例えば、“職員室はだれがいるところかな”と幼児に質問しながら遊ぶ。 ⑥どうすればもっとおもしろくなるか話し合う。 ⑦グループごとに楽しかったことやうれしかったことを発表し合う。	★2年生の質問の答えが分からないときは、教えてもらうように声をかける。	★進んで“さいころ”を振ったり2年生の質問に答えたりして遊んでいるか。



どこを“あがり”にしようか?

「校長室」のカードのところを“あがり”にしたらどうかな。



トイレに行ったら、手を洗おうね。



(3)事後の指導

**保育所、幼稚園**

◆**幼児への指導**

- 帰りの会等で、2年生と力を合わせて“小学校生活すごろく”をつくって遊べたことを話題にして賞賛し、小学校生活への期待感を高めるようにする。
- 日常の遊びの中で、“すごろくあそび”につながるような環境を整えて、小学校で“小学校生活すごろく”をつくって遊んだ経験を生かせるようにする。

**小学校**

◆**児童への指導**

- 第7時…“小学校生活すごろく”で幼児とかかわることで、自分の小さい頃を振り返り、自分が成長してできるようになったことや役割が増えたことなどを話し合うようにする。
- 第14時…“すてきな自分を知ってほしい発表会”の招待状をつくり、保育所や幼稚園に届けるようにする。

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携